

(様式7)

事業所における自己評価結果(公表)

公表年月日:令和 6 年 3 月 30 日

事業所名 放課後等デイサービス マハロ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
	2	職員の配置数は適切である	4		基準の配置を満しています。	利用児の利用状況によっては不足と感じる部分もある。必要に応じて他部署からの応援を充て環境を整えていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1	これからもアンケート調査等を活かし業務改善につなげていきます。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		ホームページにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3		外部評価が受けられるような体制づくりを行い、業務改善に努めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		法人全体での研修、ケースに応じた資料の読み合わせを行っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		活動計画書を作成し、計画に基づいて活動を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		インターネット等、利用児が楽しめるよう情報収集をし、季節や利用児にあった活動を提供しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		長期休暇時は外出を取り入れ、地域の中で生活していけるようなプログラムを提案しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		お子様の状況やご家族の意向も反映した計画書を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		申し送りノートの活用を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		申し送りノートの活用を行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		ミーティング内にてケース検討等を実施し、各職員の視点を踏まえて計画の見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		担当職員と児発管が連携し、情報を整理したうえで会議に参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		随時学校と連携を図っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2		現在、看護師不在なため難しい現状です。(医療ケア児童の受け入れは行っていない)
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4		進路会議にてマハロでの支援に関する情報提供を行いました。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	山梨県地域療育支援事業主催の研修に年2~3回参加しています。	専門機関との連携を深めていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		コロナ禍の影響も受け、児童施設間でのやりとりに難しさを感じました。世の中の動向を伺いながら交流できる機会を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3		協議会からの要請依頼があれば参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎時に、その日の様子を詳しくお伝えしています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	必要に応じて、ご家族からの相談を受けています。	ペアレントトレーニングは実施していないが、相談・助言を継続していきます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		保護者会は設置していませんが、必要に応じて開催します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		契約時に苦情受付の説明を行っています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		インスタグラム、マハロ通信にて情報の発信を行っています。	
	35	個人情報に十分注意している	4		守秘義務の理解・徹底をしています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		地域住民の方に事業運営を伝える機会を作っているので、今後検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		年2回実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		月1回の虐待防止研修および倫理考慮の輪読をしています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		法人内で身体拘束の適正化の取り組みを行っており、サービス計画に活かしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		年1回健康調査票の作成をしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0		事例集は作成していませんが、報告書は回覧し事業所全体で共有しています。